

経営比較分析表（平成30年度決算）

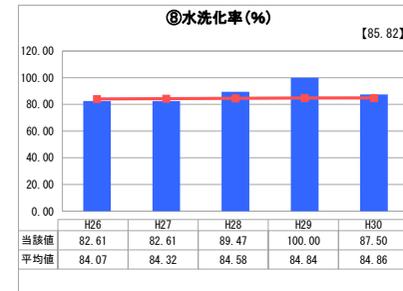
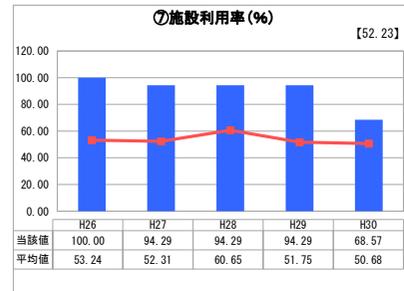
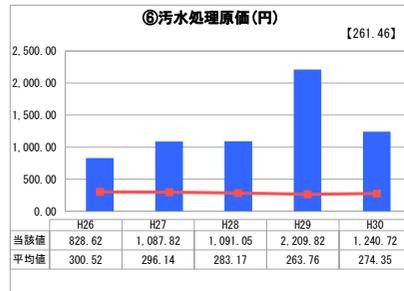
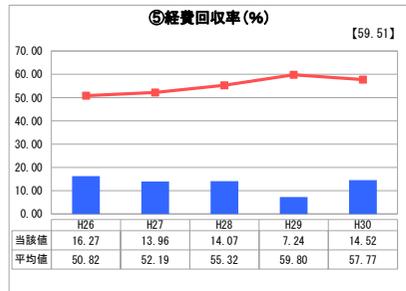
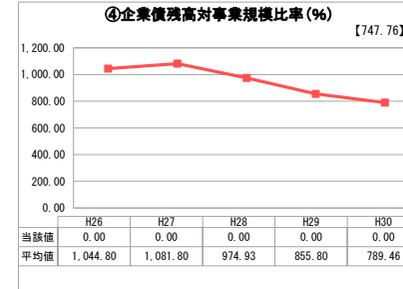
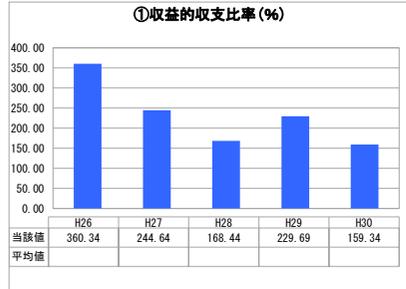
群馬県 みなかみ町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.17	26.39	2,592

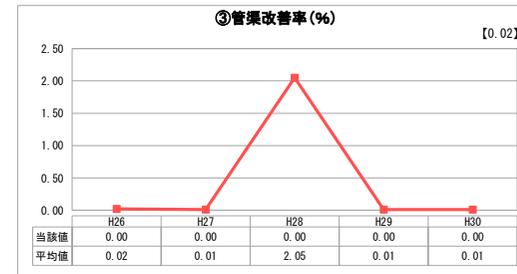
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
19,037	781.08	24.37
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
32	0.02	1,600.00

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

事業対象地域は独立した集落となっており人口も少なく節水意識の高まりから有収水量が減少して、料金収入が減ってきている状態である。経費回収率も悪く、汚水処理原価も高いなど効率的ではない部分もある。維持管理費も特に変動はないが、料金収入のみで維持管理費等を補うことは難しい状態であるため、より一層の維持管理費の削減等が求められる。また地域的に汚水処理の広域化を実施することは難しくこれを踏まえたうえで維持管理をしていく必要がある。今後は経営戦略の策定を行い、事業の健全化に向けて努めていく。

2. 老朽化の状況について

供用開始後20年以上が経過し、老朽化に伴う不明水の侵入や木の根による管路の閉塞、処理施設の故障が発生する恐れがある。現在大規模な修繕は発生していないが、汚水の安定的な処理を行うためには計画的な施設管理や老朽化対策が必要となる。

全体総括

農業集落排水事業は、農業用水の水質保全や農村地域の生活環境の保全を図ることが目的である。事業についてはこれといった大規模修繕は現在発生していないが、供用開始20年が経過しているため、これから先において修繕等が増えてくることから、この先において修繕等が増えることが考えられる。そのため、施設の老朽化も勘案しながら維持管理を適正に行うと同時に放流水の水質確保、生活環境の保全に努める必要がある。経営面では、料金収入の確保に努め、維持管理費の削減に取り組み、健全化を促進していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益の収支比率の類似団体平均等を表示していません。